

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(2008年3月15日現在)
	自己	外部				
改善済み	1	1	地域密着型サービスとしての新理念をつくりあげる	訪問調査後に管理者、計画作成担当者を中心に、地域で暮らし続ける事と、ホーム開設から5年間認知症ケアにおいて大切にしてきたこと、これからも実践していきたい事を盛り込んだ新理念を作りあげた。	訪問調査後より	今後は、新理念の浸透と実践にむけてホーム一丸となり、統一したケアが行われるよう頑張りたい。
1	5、8	3、5	さらに地域との交流を深める	地域で行われている行事には積極的に参加し、現在実施している小学生との交流会等も継続して行っていく。また運営推進会議に、新たなご近所の方の参加をつのる。	年間を通して	ホームから地域の方へ働きかける機会を見つけ、グループホームについて、さらに理解を深めていきたい。
2	36	15	家族や本人の意向を反映したケアプランとなるよう意見をいただく	説明しサインをいただくときに、再度ご家族の意向を確認するようにする。	訪問調査後より	ケアプランにご意見をいただく事は少ないが、要望、ご意見はいつでも連絡下さいと手紙を添えている。
3	19	10	雇用時の研修を実施する	新人職員研修用に冊子を作成した。また、経験者でも、業務に慣れ自信がつくまでは日中4人態勢とし、リーダーとなる職員が細かく指導することとした。	随時	新しいスタッフはスムーズに業務に慣れることができている。
4	71	27	様々な場面を想定した避難訓練を実施する	夜間の火災を想定した訓練を実施する。		平成20年4月の避難訓練で、夜間の火災を想定し実施する予定である。
5	7	4	スタッフ全員で自己評価に取り組む	自己評価に3か月前から取りかかるようにし、ミーティングで自己評価の項目ごとの狙いについて説明し全スタッフで取り組むようにする。	平成20年6月から	